

# 事業部制超え、新市場開拓を

## タクテックスが本社リニューアル

CAD/CAMソフトや通信システムのタクテックス（名古屋市中村区十王町）は本社のリニューアルを終え、新たな市場開拓を模索し始めた。2007年11月に60周年を迎え、重点事業として始めたリニューアル化。従来の事業部制を超え、ビジネスチャンスを掘り起こす狙いがある。

### 本社はライブオフィス

本社リニューアルのきっかけは、岐阜テクニカルセンター（TC）をライブファクトリーと位置付け、よりユーザーに近い＜実践現場＞を07年に作ったことが挙げられる。それまで本社にいたソフト開発部隊も岐阜TCに移った。

本社は5階建ての全館をユー

ザーが実際に体験できる実践的な事務所として、いわゆるショールーム化し、2階にはゲストルームを設置。観葉植物などのグリーン、間伐材を使用したパーテーションなどで、環境への配慮と居心地の良さを演出した。また、コピー機や通信システム関係を扱うOA事業部のオフィスである4階は、フロア全体をセキュリティーゾーンとした。IDカード対応となった事務機器を配備しており、オフィスの最新セキュリティー体験が可能だ。

5階はセミナールームとサロン。テラス部分にウッドデッキを設けるなどし、訪れるユーザーや社員に安らぎの場として利用されそうだ。

タクテックスは、この見て体験できるショールームと居住空

間を両立させた本社を、ライブオフィスと位置付け、先に完成したライブファクトリーの岐阜TCと連動させた新しいビジネスシーンを作ろうとしている。

本社リニューアルに伴って行なわれた内覧会

には200人余のユーザーや関係者が訪れ、最新のオフィス機器やセキュリティーシステムを体感した。

### 工場とオフィスの新しい形

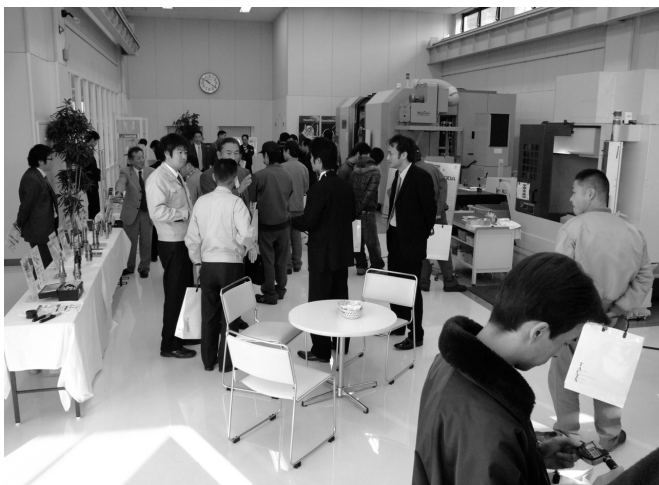
岐阜TCでは初の切削加工技術展を開催した。展示スペースに設置された複合機マシニングセンタによる実加工のほか、協賛メーカーによるセミナーを行い、100余人のユーザーがより実践的な加工技術を体験した。

会場では本社とインターネット回線でつなぎ、データやライブの画像・音声のやり取りを行うなど、工場とオフィスの新しい形を提案した。

タクテックスは、オフィス機器のAO事業部とCAD/CAMソフトなどを扱ってきたFA事業部の両部が持つノウハウを生かし、新しいビジネススタイルによる市場へのアピールを行なおうとしている。

従来のオフィスだけでなく、また生産現場だけでもなく、ユーザーの会社を丸ごとシステムアップしよう。今後の展開に注目したい。

（柴田益男）



にぎわうライブファクトリーの岐阜TC